

2024 年度 3 年次 3 月(2022 年4月入学・完成期)

「学びと成長の歩みの記録」アンケート(概要版)

「学びと成長の歩みの記録」の概要

立教大学では、2022 年度に入学した学生を対象に「学びと成長の歩みの記録」(学修状況調査)のアンケート調査を実施しました。

「学びと成長の歩みの記録」のコンセプトは「学生自らが、[RIKKYO Learning Style](#)の各学修期(『導入期』『形成期』『完成期』)に合わせて自身の学修成果をふりかえり、成長の変化を自覚できること、そして、大学としてその結果を分析・検証し教育の改善に活用すること」です。

今回は 2022 年度学部 1 年次入学者(2022 年 4 月入学)を対象に、完成期中間時点の 3 年次 3 月に実施しました。今後は卒業時に調査を実施し、「導入期」「形成期」「完成期」を通じた学びと成長の過程を追っていきます。

この資料では集計・分析結果の概要をご紹介します。アンケート調査にご回答いただいた学生のみなさん、ご協力ありがとうございました。立教大学では、今回の結果を踏まえてこれからの教育の改善に活かしていきます。

実施時期：2025 年 3 月 5 日～2025 年 5 月 31 日

調査対象：2024 年度学部 3 年次生(2022 年 4 月入学)

調査方法：全数調査(オンライン調査)

調査目的：RIKKYO Learning Style の「完成期」中間時点での学修成果等の把握を目的として実施することで、立教大学での学びや過ごし方について学生自身がふりかえり、大学としてその結果を教育の改善のために活用すること。

回答数と回答率

対象学生数：4,310 名 回答数：960 名 回答率：22.3%

学部	対象学生数	回答者数	回答率
文学部	829	220	26.5%
経済学部	639	112	17.5%
理学部	257	61	23.7%
社会学部	492	106	21.5%
法学部	551	116	21.1%
経営学部	363	55	15.2%
異文化コミュニケーション学部	141	46	32.6%
GLAP*	14	7	50.0%
観光学部	331	72	21.8%
コミュニティ福祉学部	396	104	26.3%
現代心理学部	297	61	20.5%
合計	4,310	960	22.3%

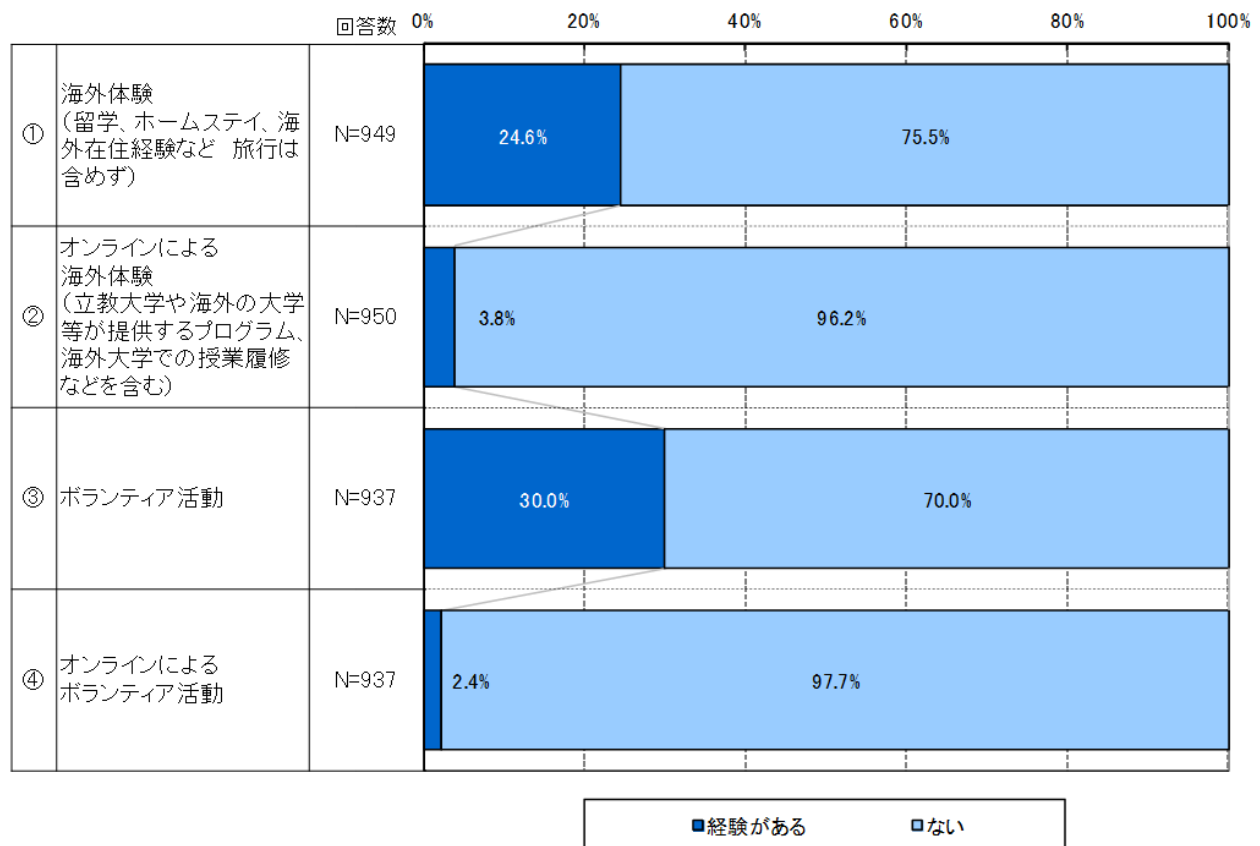
*注)GLAP:グローバル・リベラルアーツ・プログラム

調査結果（概要）

本調査で得られた調査・分析結果の概要をご紹介します。

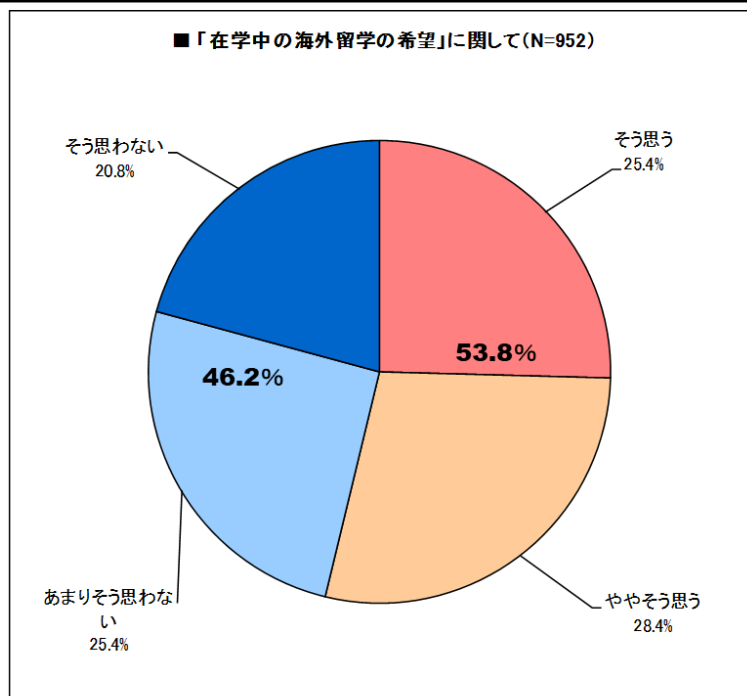
■Q1.3 年次春学期開始から3年次秋学期終了までの経験

- 海外体験を経験した学生は24.6%、オンラインによる海外体験を経験した学生は3.8%、ボランティア活動を経験した学生は30.0%、オンラインによるボランティア活動を経験した学生は2.4%でした。



■Q2. 在学中の留学意向

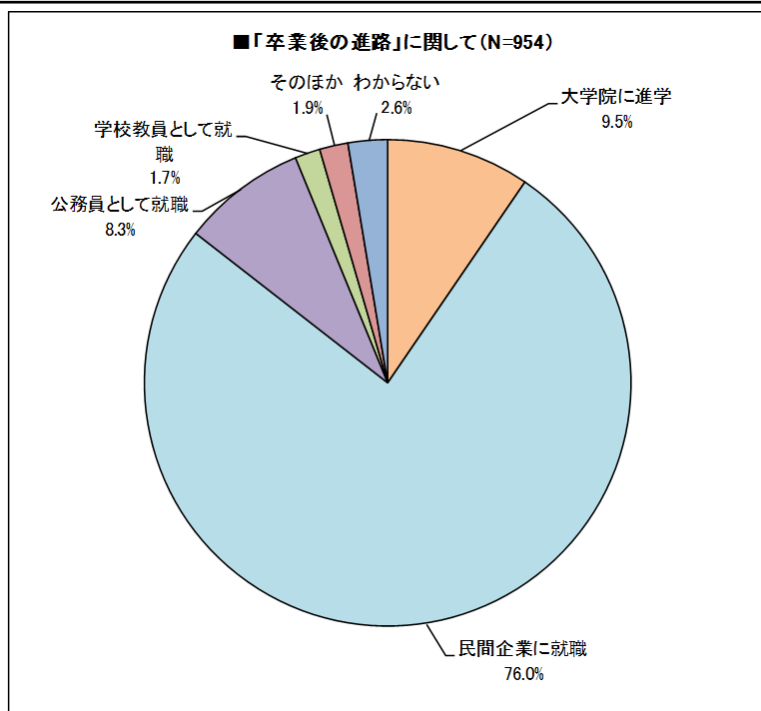
- 在学中の留学に対する意向を尋ねたところ、「そう思う」が 25.4%、「ややそう思う」が 28.4%、「あまりそう思わない」が 25.4%、「そう思わない」が 20.8%で、「そう思う」と「ややそう思う」を合わせると、過半数の学生が留学したいとされていることがわかりました。



※グラフ中の黒太文字で示した数値は各々、「そう思う」と「ややそう思う」の合計、「そう思わない」と「あまりそう思わない」の合計となっている。

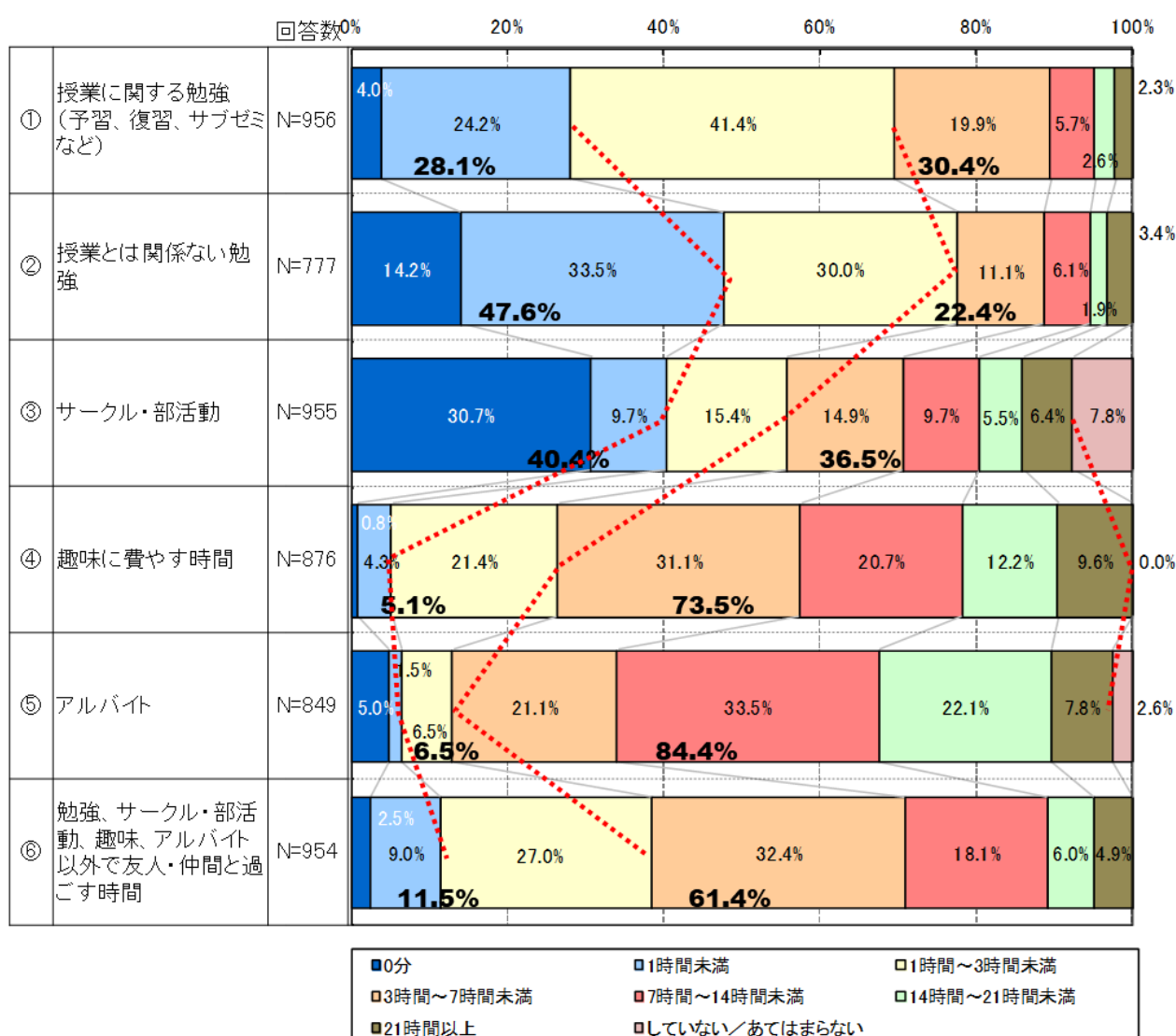
■Q3. 卒業後の進路意向

- 卒業後の進路の意向について尋ねたところ、「民間企業に就職」が最も多く 76.0%、「大学院に進学」が 9.5%、「公務員として就職」が 8.3%と続いていました。



■Q4. 学生生活（1週間あたりに費やした時間）

- 3年次春学期・3年次秋学期の授業期間にそれぞれの活動に費やした時間（1週間当たりの平均）を尋ねたところ、「①授業に関する勉強」では、「1時間～3時間未満」が最も多く41.4%、次いで「1時間未満」が24.2%となっていました。「②授業とは関係ない勉強」では、「1時間未満」が最も多く33.5%、次いで「1時間～3時間未満」が30.0%となっていました。
- 「③サークル・部活動」では、「0分」が最も多く30.7%、「④趣味に費やす時間」では、「3時間～7時間未満」が最も多く31.1%、「⑤アルバイト」では、「7時間～14時間未満」が最も多く33.5%、「⑥勉強、サークル・部活動、趣味、アルバイト以外で友人・仲間と過ごす時間」では、「3時間～7時間未満」が最も多く32.4%となっていました。

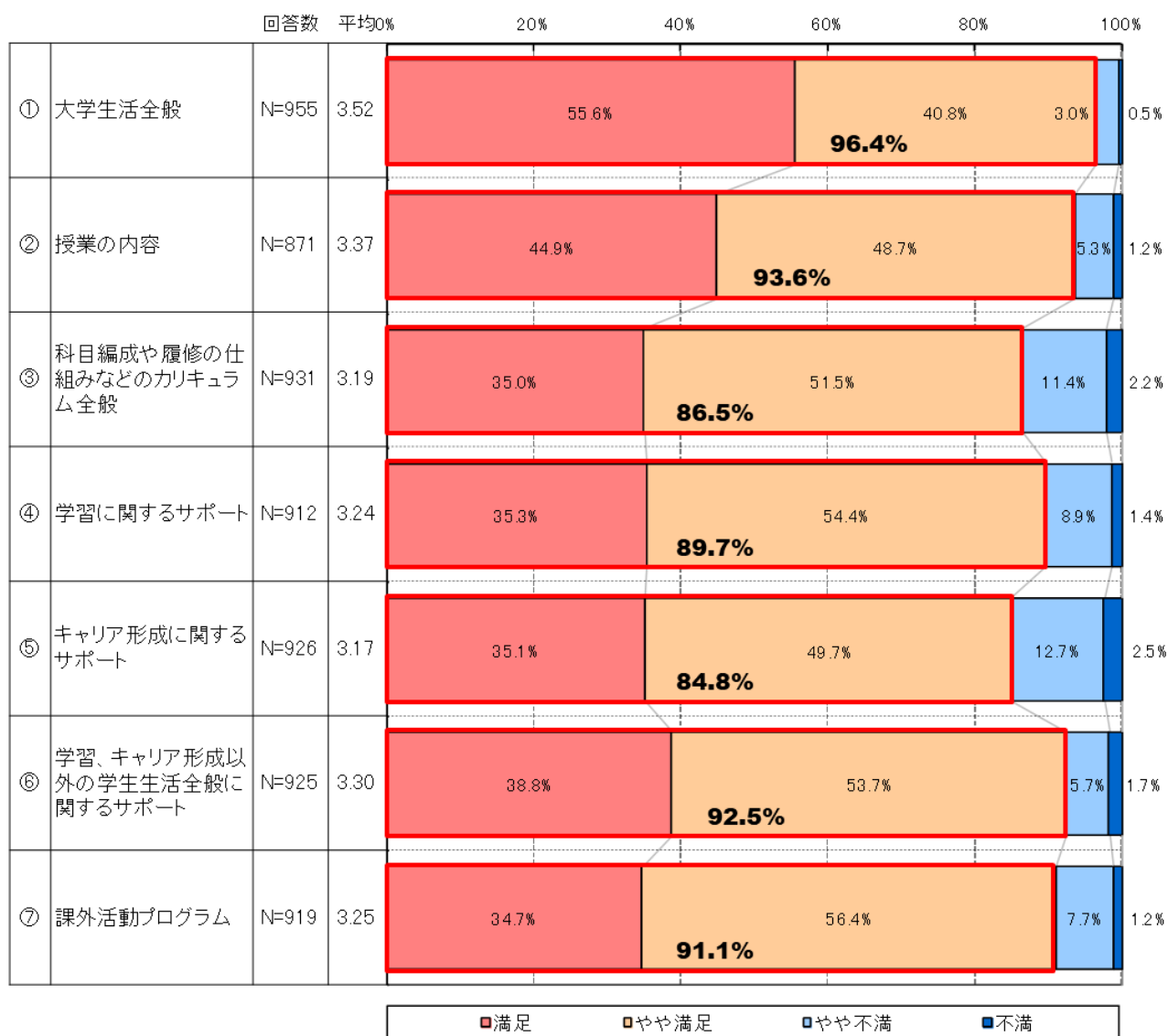


※グラフ中の黒太文字で示した数値は左側が「0分」と「1時間未満」の合計、右側が「3時間～7時間未満」「7時間～14時間未満」「14時間～21時間未満」「21時間以上」の合計となっている。

※①②⑥の3つの質問には「していない／あてはまらない」という選択肢は用意していない。

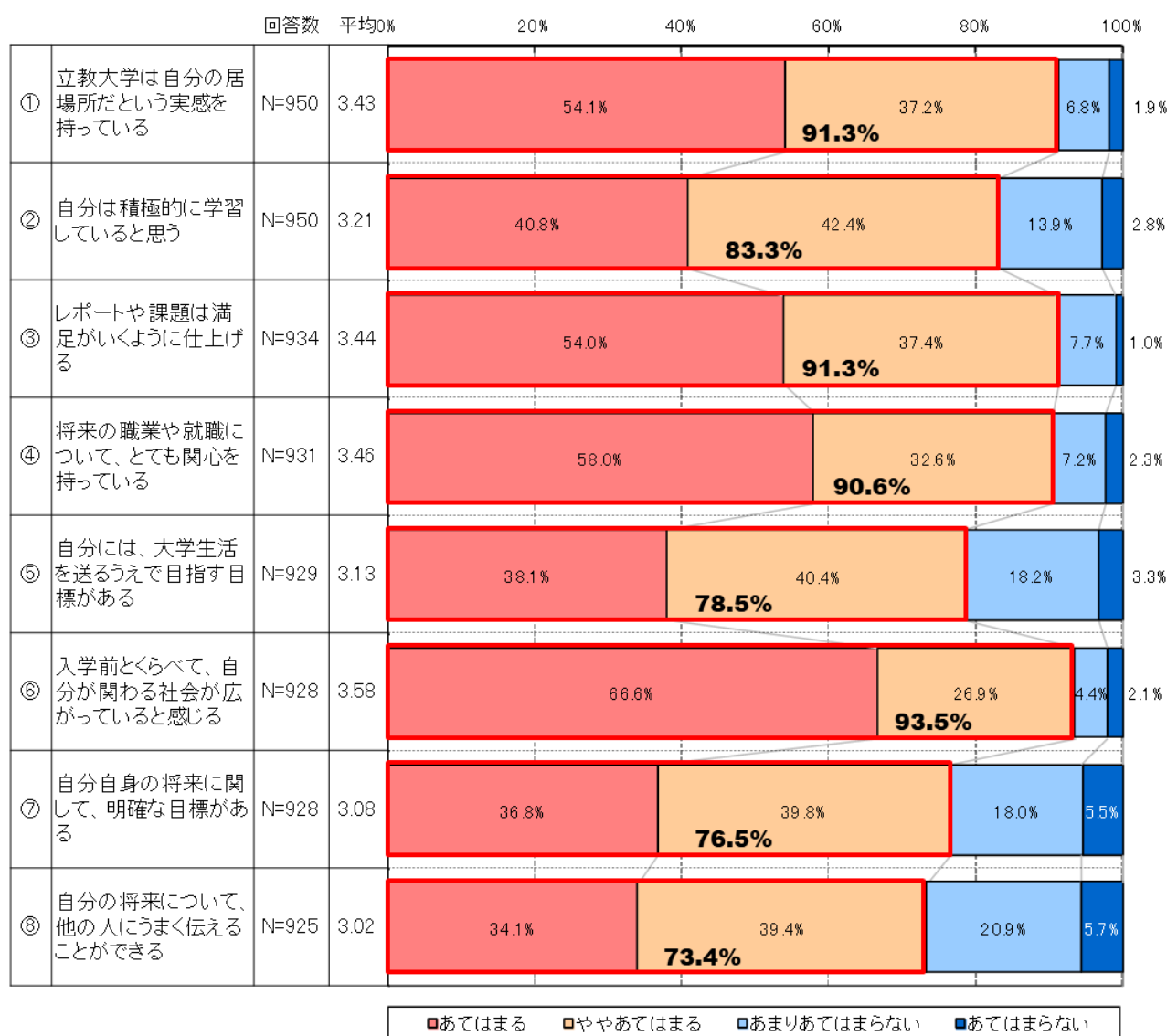
■Q5. 満足度

- 立教大学の各項目への満足度を尋ねたところ、「満足」「やや満足」を合わせると、全ての項目で8割以上の学生が立教大学での授業やサポートについて満足していると回答していました。肯定的な回答が最も多かったのは「①大学生活全般」で96.4%でした。一方、肯定的な回答が最も少なかったのは「⑤キャリア形成に関するサポート」で84.8%でした。



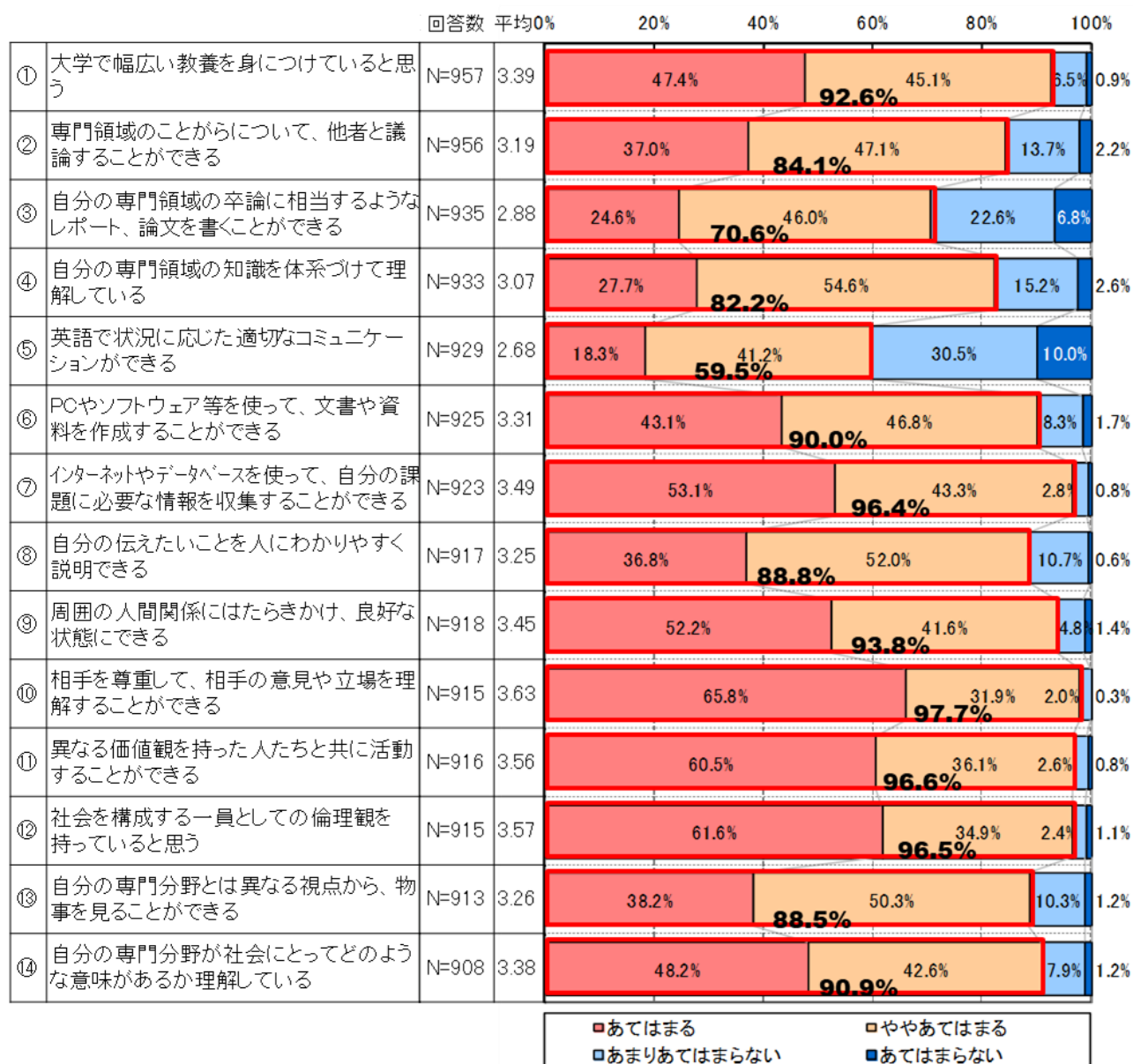
■Q6. 大学生活・学修について

- 大学生活や学修、キャリアに関する質問項目をみると、全ての項目で7割以上の学生が「あてはまる」「ややあてはまる」と回答していました。



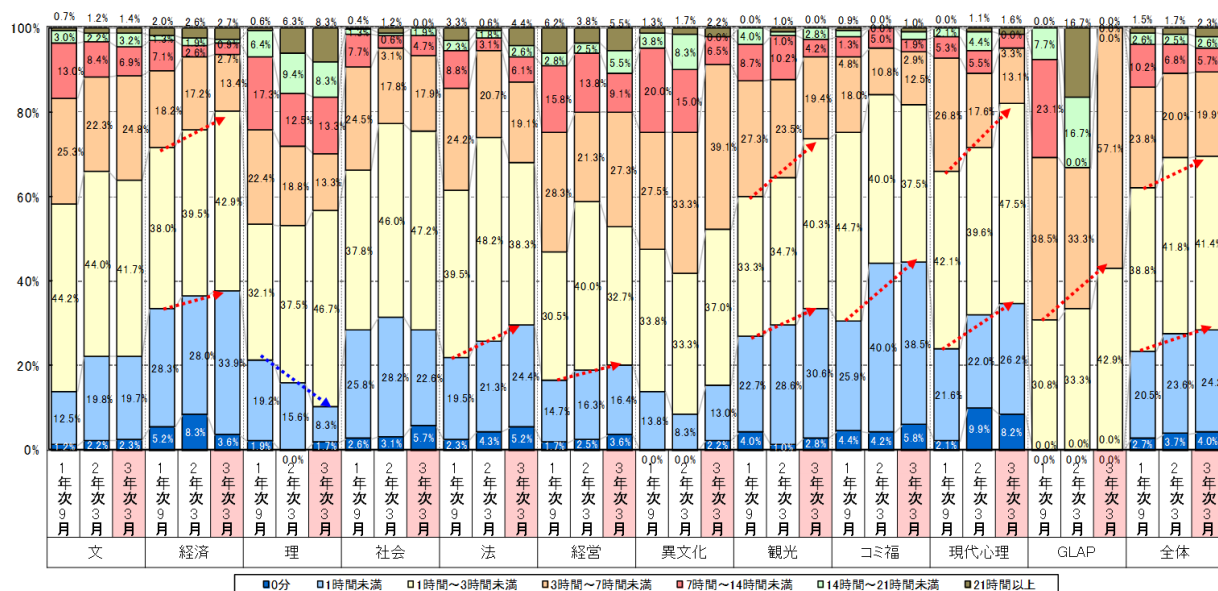
■Q7. 「立教大学 学士課程教育の目的」の学修成果

- 立教大学の学士課程教育の目的(ディプロマ・ポリシー)と関連する各項目について尋ねたところ、全ての項目で半数以上の学生が「あてはまる」「ややあてはまる」と回答していました。特に、「相手を尊重して、相手の意見や立場を理解することができる」は 97.7%の学生が肯定的な回答をしていました。
- 一方、Q7. ⑤の英語によるコミュニケーション能力を尋ねる項目は「あてはまる」「ややあてはまる」を合わせた回答が 59.5%と他の項目と比べて低く、課題のある結果となりました。



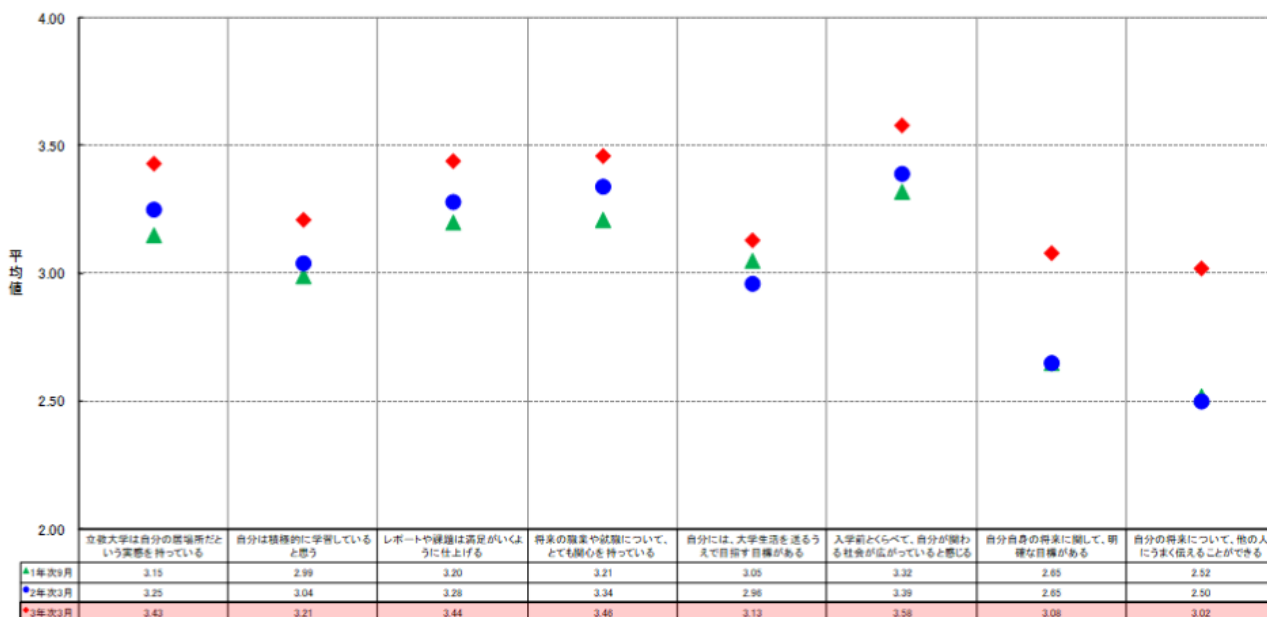
■〈授業に関する勉強〉に費やした時間（1 年次 9 月、2 年次 3 月調査時点との比較）

- 時間が短い層の目安として「1 時間未満」までの合計で比較すると、経済学部、法学部、経営学部、観光学部、コミュニティ福祉学部、現代心理学部で「1 年次 9 月」から「3 年次 3 月」にかけて一貫して増加していました。
- 時間が長い層の目安として「3 時間以上」までの合計で比較すると、経済学部、観光学部、現代心理学部、GLAP で「1 年次 9 月」から「3 年次 3 月」にかけて一貫して減少していました。



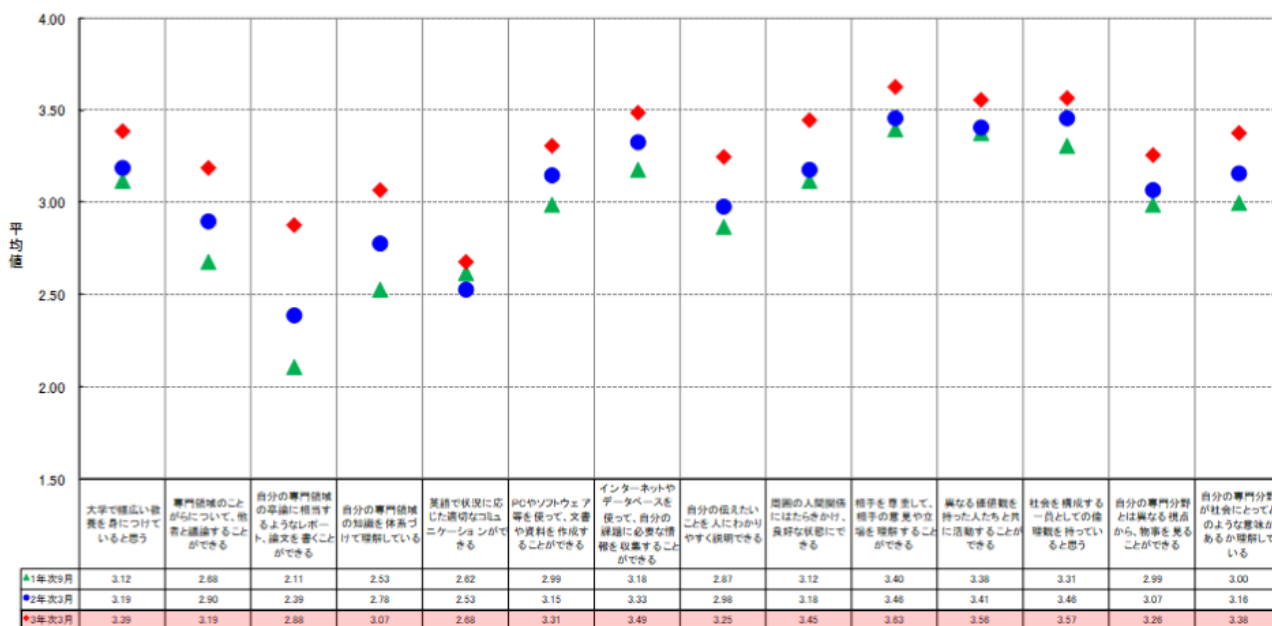
■「自分自身の状況」（1 年次 9 月、2 年次 3 月調査時点との比較）

- 「2 年次 3 月」と比べて「3 年次 3 月」の方がスコアの高い項目を点差が大きい順に挙げると、「自分の将来について、他の人にうまく伝えることができる」「自分自身の将来に関して、明確な目標がある」「入学前とくらべて、自分が関わる社会が広がっていると感じる」となっていました。
- 「1 年次 9 月」から「3 年次 3 月」の間で、一度でも平均値が低下していたのは、「自分には、大学生活を送るうえで目指す目標がある」「自分の将来について、他の人にうまく伝えることができる」となっていました。



■「身につけている能力」(1年次9月、2年次3月調査時点との比較)

- 全ての項目で「2年次3月」よりも「3年次3月」の方が平均値が高く、点差が大きい順に挙げると、「自分の専門領域の卒論に相当するようなレポート、論文を書くことができる」「専門領域のことについて、他者と議論することができる」「自分の専門領域の知識を体系づけて理解している」となっていました。
- 「1年次9月」から「3年次3月」の間で、一度でも平均値が低下していたのは、「英語で状況に応じた適切なコミュニケーションができる」のみとなっていました。



2025年12月
立教大学 大学教育開発・支援センター 教学 IR 部会